エクセルデータシートの入力マニュアル

表題の名前は「施設名」としてください。例「多摩総合医療センター」

シート１にデータ入力

シート2にAtlanta分類

シート3にFiO2 、PaO2換算表、SIRS診断基準

シート4に基礎疾患リスト（Charlson　index参考）

と別れています。シート1のみが入力項目になります。シート2、3、4は参考資料です。

データ入力（全般）について

・IDと各入力項目は予め固定されています。

・各施設の全患者データを一つのエクセルファイルに記載してください。

・基本的にはリストから選ぶ形式になっています。あまりに不適当と思われる値を入力すると「入力した値は正しくありません」と表示されます。もう一度入力値を確認してください。

・検査値や入力項目が不明の場合は空欄のままとしてください。

・原則的になしは0、ありは1となっています。

・特記事項（ＢＺ）までが入力範囲になります。ＣＢからＣＱ（灰色の項目）はAPACHⅡの計算用の項目になりますので変更、入力しないようにしてください。

・予後因子は0、APACHⅡスコアは57が初期で入力されていますが、各項目を入力すると自動的に反映されるようになっています。

・日にちは西暦/月/日で記載してください。　例2012/01/01

・予後因子のSIRSの診断基準はシート3を参考としてください。

・Atlanta分類は国際的な膵炎の重症度評価の指標です。シート2を参考に入力してください。

・基礎疾患はCharlson idexを参考に作ってあります。シート4にリストが載っています。リストは全部で16個ありますが、最初は8個しか表示されていません。表示スクロールバーを使って入力してください。リストに載っているものがなければ無で結構です(その場合基礎疾患1のみ無と記載してください)。4つ以上ある場合はお手数ですが、特記事項にリストに載っている病名の記入をお願いします。

・各項目で「その他」や「それ以外」など該当した場合はその詳細を特記事項に記載してください。

データ入力（APACHEⅡ）について

APACHEⅡは重症膵炎診断時から24時間以内で最悪値を計算してください。

ブルーで示したAPACHEⅡの各項目（Ｆ～Ｖ）を入力すると合計点を自動的に計算できるように作られています。APACHEⅡスコアは57と入力されていますので、正しい値を入力し直してください。

施設で合計点がすでに計算している場合はブルーで示した項目は省略しても構いません。

（最初のAPACHEⅡスコアは57と入力されていますので、正しい値を入力し直してください。）

下記に入力の注意事項を記載しますので参照してください。

1. 腋窩体温しか測られていない場合

腋窩体温+1.0℃で記入してください。

1. 平均血圧の求め方

平均血圧＝（上の血圧－下の血圧）÷3＋下の血圧で求める事が出来ます。

152/86mmHgの方場合　（152－86）÷3＋86＝108となります。

1. 動脈血ガスが採取されていない場合

動脈pHの項目は空白のままとしてください。

PaO2はシート3にあるSpO2とPaO2の換算表を参考に記入してください。

PaCO2は静脈ガスの測定値に+6mmHgをして記入してください。

1. 人工呼吸器を装着しておらず、正確なFiO2が分からない場合

シート3にあるFiO2換算表を参考に記入してください。

1. 慢性疾患の有無とは何を指しているのか？

肝 ・生検で肝硬変と診断、あるいは門脈圧亢進症が存在する。

・門脈圧亢進による上部消化管出血の既往がある。

・肝不全・肝性昏睡の既往がある。

心血管系 ・NYHA Ⅳ度（安静時にも呼吸困難を示す）。

呼吸器系 ・慢性の拘束性、閉塞性疾患、血管疾患による重度の運動制限（階段を登れない、家事ができない）などある。

・慢性の低酸素血症、高炭酸ガス血症、二次的な赤血球増加症、40mmHg以上の重症肺高血圧症、人工呼吸器依存が存在する。

腎 ・慢性透析施行。

免疫不全 ・感染防御機能を抑制する治療（免疫抑制剤、化学療法、商社両方、長期または大量ステロイド投与）が行われている。